

地連だより

2018年4月/第4号 地域医療連携室発行

〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目1-36 URL: <http://www.jrhh.or.jp/>

地域医療連携室 TEL: 082-262-1581 FAX: 082-262-1253

優しさと誠実な医療で 更なる地域貢献をめざします

相談できます！

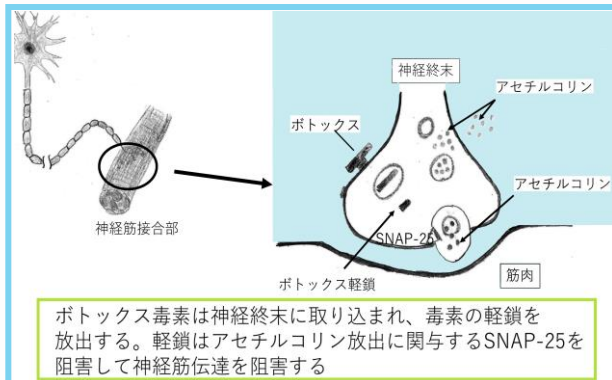


脳卒中の後遺症、手足のつっぱり。

脳卒中での死亡率は減少してきていますが、**脳卒中による後遺症**に苦しんでいらっしゃる患者さんは数多くいらっしゃいます。後遺症の中には麻痺とそれに伴う痙縮(手足のつっぱり)があります。痙縮により自由な上下肢の動きが妨げられて、機能障害に至るのです。指が開かないために掌が洗えない人や、足が背屈しないために歩けない人もいます。手術で腱の延長や移行を行う方法もありますが、**ボツリヌス療法**も一つの方法です。

ボツリヌス療法とは、ボツリヌス菌により産生される菌体外毒素を利用した方法です。ボツリヌス毒素は特異的に神経に作用し、死に至る場合もあります。抗原性の違いから、A,B,C,C1,D,E,F,G型に分類されます。わが国で認可されているのは**A型毒素のボトックスのみ**です。

作用点としては神経筋接合部・神経節後の交感神経終末・神経節後の副交感神経終末・自律神経節・痛覚受容体線維が報告されていますが、痙縮に与するのは神経筋接合部です。毒素が神経筋接合部の神経終末内でアセチルコリン放出を抑制し、神



経筋伝達を阻害し筋収縮を抑制します。また、筋紡錘を弛緩させ、伸張反射の抑制が認められます。神経筋伝達を抑制された神経は神経発芽により側副枝が形成され、新たな神経筋接合部を形成しますが、毒素によりされた運動神経終末の機能が回復すると側副枝は退縮し、筋弛緩作用も消失します。

ボツリヌス治療の適応は、眼瞼痙攣や痙性斜頸などのジストニア、片側顔面麻痺・脳性麻痺・脳卒中に伴う痙縮などの骨格筋緊張亢進症、平滑筋緊張亢進症、分泌腺機能亢進症、美容、筋緊張亢進に伴う疼痛がありますが、当院で行うのは、主として**脳卒中に伴う痙縮に対するボツリヌス療法**です。

副作用は施注部位が多いので、それに伴う痛みも副作用の一つでしょう。**禁忌**としては、重症筋無力症・Eaton-Lambert症候群・筋委縮性側索硬化症など神経筋接合部の障害を持つ患者や痙性斜頸により高度の呼吸障害のある患者です。また、妊婦や妊娠可能なひと授乳婦、ボツリヌス毒素に過敏症の患者も禁忌です。心因性の運動異常症・高度精神障害者・信頼関係が築けない患者・出血傾向のある患者・感染症など炎症のある患者も適応にはなりません。



リハビリテーション科 部長
なかむら せいご
中村 精吾

脳血管疾患

日本整形外科学会認定医、日本整形外科学会スポーツ医、日本リハビリテーション医学会専門医、日本リウマチ学会認定医
1984年 東京医科歯科大医学部卒

入院・外来患者さまの、リハビリの指導やサポートを行っております。また、整形外科も担当しており、なかでも股関節を中心とした関節を専門に、M.I.S手術などを行っております。

ボツリヌス療法 当院実施件数

2016年度…11人

2017年度…10人

1回あたりの総投与量は上肢で240単位まで、下肢で300単位まで、上下肢同時は360単位が上限とされています。肢注後2週間で安定し、その後3か月効果が持続するといわれています。理学療法・作業療法でストレッチを行うと効果が持続するといわれています。4か月を超えると再施注も可能となります。

これまでボツリヌス療法をおこなってみると比較的リピーターが多いように思います。患者さんがその効果に比較的満足していることの表ではないかと思えます。指が開かなくて掌が洗えなかった患者さんも「**掌が洗えるようになった**」と喜ばれ、肘が伸びなかった患者さんも「**肘が少し伸びるようになった**」とおっしゃいます。ただ、施注すると麻痺が無いように指が動くようになるといったことはありません。

患者さんに正確な情報を与えて、ボツリヌス治療を勧める必要があると思います。適応症例があればご紹介ください。

ボツリヌス療法は、保険適応ではありますが、高価な薬剤を使用する治療法です。そのため、**特定疾患医療や福祉医療助成制度などの対象とならない方は、医療費が高額になる場合があります。**詳しくは、整形外来へお気軽にお問い合わせください。

脳卒中の後遺症 手足のつっぱり(痙縮)相談シート

あてはまる項目にチェックして、医師または受付にお渡しください。

「手足の筋肉の緊張」によって・・・

- 肩やひじが固まったように動かず、着替えや入浴に苦労する
- ひじが曲がったまま伸びず、人や物にぶつかってしまう
- 手首やひじが曲がったまま伸びず、ものをつかみにくい
- 手の指が曲がったまま伸びず、手洗いや爪切りがしにくい
- つま先立って、かかとがつかず、歩かときのバランスが悪い
- 足の指が曲がったまま伸びず、体重がかかって痛みが生じる



足の筋肉がつっぱって歩きにくいなあ...

チェックしてみましょう

ボトックス治療により
このような良いことがあります

日常生活動作が
行いやすくなります

痛みを和らげる効果が
期待できます

介護の負担が
軽くなります

リハビリと併用することが大事です！
一緒に頑張っていきましょう

「第59回オープンカンファ」を開催しました！！

広島大学病院分子内科学 教授 服部 登先生を講師に迎え“高齢者肺炎の治療と予防”について講演しました。

50名の方に参加をいただき、治療や肺炎球菌ワクチン、口腔ケア、嚥下リハなど役立つ内容であり参加者の方から質問も多く関心の高さを痛感しました。

次回も、皆様のご参加をお待ちしております。

